

[麦 類]

1. 作付の概況

九州地域における平成20年産の麦類の作付面積は54,840ha で、前年とほぼ同じであった。麦種別では、小麦が35,100ha、二条大麦が18,100ha、裸麦が1,640ha で、前年に比べて小麦は500ha減少したが、二条大麦は700ha、裸麦は300ha増加した。全国の作付面積に占める九州地域の割合は、小麦が16.8%、二条大麦が51.1%、裸麦が37.7%であった。

県別では、小麦は長崎県、熊本県、大分県で減少した。二条大麦は鹿児島県を除くすべての県で増加した。裸麦は、大分県、福岡県、佐賀県で増加し、長崎県で減少した。

2. 生育概況

播種後は降雨が少なく、ほ場の乾燥状態が続いたため、出芽はやや遅かった。12月から1月までは比較的温暖で初期生育が回復したが、2月はやや低温に経過、その後、3月中旬以降は平年並みの気温となり、出穂期はほぼ平年であった。登熟期は、気温は平年並みで少雨多照のため、小麦、大麦とも穂数や全粒数が多く、千粒重が重かった。その結果、九州全体の10a当たり平均収量(過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均)対比は、小麦で123、二条大麦で131、裸麦で126といずれも良好であった。

3. 作柄の概況

各県の10a当たり平均収量対比は、小麦では103～131、二条大麦は宮崎県が86であった以外は111～135、裸麦は106～135と、いずれの麦種も作柄は良好であった。

(九州沖縄農業研究センター 小麦・大麦育種ユニット 藤田雅也)

平成20年産麦類の作付面積と収穫量

(麦種) 地域・県	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	前年産との比較						(参考) 10a当たり 平均収量 対
				作付面積		10a 当たり 収量		収穫量		
				対差	対比	対比	対比	対差	対比	
(小麦)	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	
全 国	208 800	422	881 200	△	900	100	97	△ 28 900	97	104
九 州	35 100	449	157 500	△	500	99	102	300	100	123
福 岡	15 200	454	69 000		0	100	96	△ 3 200	96	120
佐 賀	11 500	500	57 500		0	100	109	4 900	109	131
長 崎	771	418	3 220	△	57	93	101	△ 200	94	129
熊 本	4 820	394	19 000	△	120	98	101	△ 200	99	116
大 分	2 680	320	8 580	△	320	89	99	△ 1 080	89	121
宮 崎	66	283	187		23	153	102	68	157	103
鹿 児 島	22	255	56		3	116	105	10	122	107
(二条大麦)										
全 国	35 400	410	145 100		900	103	110	16 900	113	119
九 州	18 100	435	78 800		700	104	105	7 000	110	131
福 岡	4 980	394	19 600		260	106	98	600	103	127
佐 賀	9 710	475	46 100		90	101	110	4 500	111	135
長 崎	772	426	3 290		104	116	104	560	121	124
熊 本	1 770	398	7 040		130	108	112	1 200	121	134
大 分	717	331	2 370		79	112	92	80	103	111
宮 崎	35	229	80		3	109	94	2	103	86
鹿 児 島	111	318	353	△	2	98	126	68	124	129
(裸 麦)										
全 国	4 350	370	16 100		330	108	104	1 800	113	119
九 州	1 640	349	5 730		300	122	101	1 120	124	126
福 岡	339	394	1 340		54	119	91	100	108	130
佐 賀	141	429	605		42	142	105	201	150	131
長 崎	158	321	507	△	44	78	106	△ 107	83	135
熊 本	31	358	111		5	119	111	27	132	128
大 分	961	328	3 150		239	133	105	890	139	122
宮 崎	4	250	10		1	133	107	3	143	106
鹿 児 島	2	235	5		0	100	159	2	167	112

注：1) 「(参考) 10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量 (過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値) に対する当年産の10a 当たり収量の比率である。

2) △は減少を示す。

3) 資料は平成21年3月17日農林水産省公表の「平成20年産4麦の収穫量 (第2報)」による。